

令和 7 年度

東根市外二市一町共立衛生処理組合
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
取組状況報告書

令和 8 年 7 月

東根市外二市一町共立衛生処理組合

1. はじめに

組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成 30 年 4 月に第 1 次計画となる「東根市外二市一町共立衛生処理組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、温室効果ガスの排出削減に取り組んで参りました。その後、令和 3 年 10 月に国の「地球温暖化対策計画」が 5 年ぶりに改定されたことや 1 次計画の策定から 5 年を経たことを契機に、令和 5 年 3 月に第 2 次となる計画（以下「実行計画」という。）を策定しています。

実行計画では、計画最終年度（令和 12 年度）に事務事業に伴って排出される温室効果ガスの排出量を基準年度より、エネルギー起源で 32%、非エネルギー起源で 2.34%削減することを目標としています。また、計画の中間目標年度（令和 9 年度）ではエネルギー起源の排出量を 26.5%、非エネルギー起源の排出量を 1.28%削減することを目標に取り組んでいます。

以下、令和 7 年度の取組結果について報告します。

2. 温室効果ガス排出量の状況

（1）エネルギー起源の状況

令和 7 年度の温室効果ガス排出量は 2,756.10t-CO₂となり、基準年度の排出量と比較すると 976.50t-CO₂（26.2%）の削減となりました。また、中間目標年度の排出量と比較すると、15.88t-CO₂（0.58%）の増加となっています。排出量の主な要因である「電気使用量」については、基準年度の排出量と比較すると減少しており、また、燃料使用量については、基準年度の排出量より減少していますが、中間目標は達成できていない状況です。引き続き中間目標達成に向けて、取り組みを積み重ねていく必要があります。

表 2-1) エネルギー起源の温室効果ガス排出量

（単位：t-CO₂）

項 目		平成28年度 (基準年度)	令和 9 年度 (中間目標)	令和 7 年度					削減目標
				(実績値)	基準年度との比較		中間目標との比較		
					増減	増減率	増減	増減率	
エネルギー ー 起源	電気使用量	3, 298. 16	2, 338. 73	2, 311. 12	△ 987. 04	△ 29. 9%	△ 27. 61	△ 1. 2%	32% (26. 5%)
	燃料使用量	434. 44	401. 49	444. 98	10. 54	2. 4%	43. 49	10. 8%	
合 計		3, 732. 60	2, 740. 22	2, 756. 10	△ 976. 50	△ 26. 2%	15. 88	0. 58%	

※削減目標の（ ）内は中間目標年度における削減目標値

（2）非エネルギー起源の状況

令和 7 年度の温室効果ガス排出量は、9,643.77t-CO₂となり、基準年度の排出量と比較すると、10,218.22t-CO₂（51.4%）の削減となりました。また、中間目標年度の排出量と比較すると、9,963.77t-CO₂（50.8%）の削減となり、目標を達成しました。これは、「一般廃棄物の焼却量」に係る排出量が大きく減少したことが主な要因です。

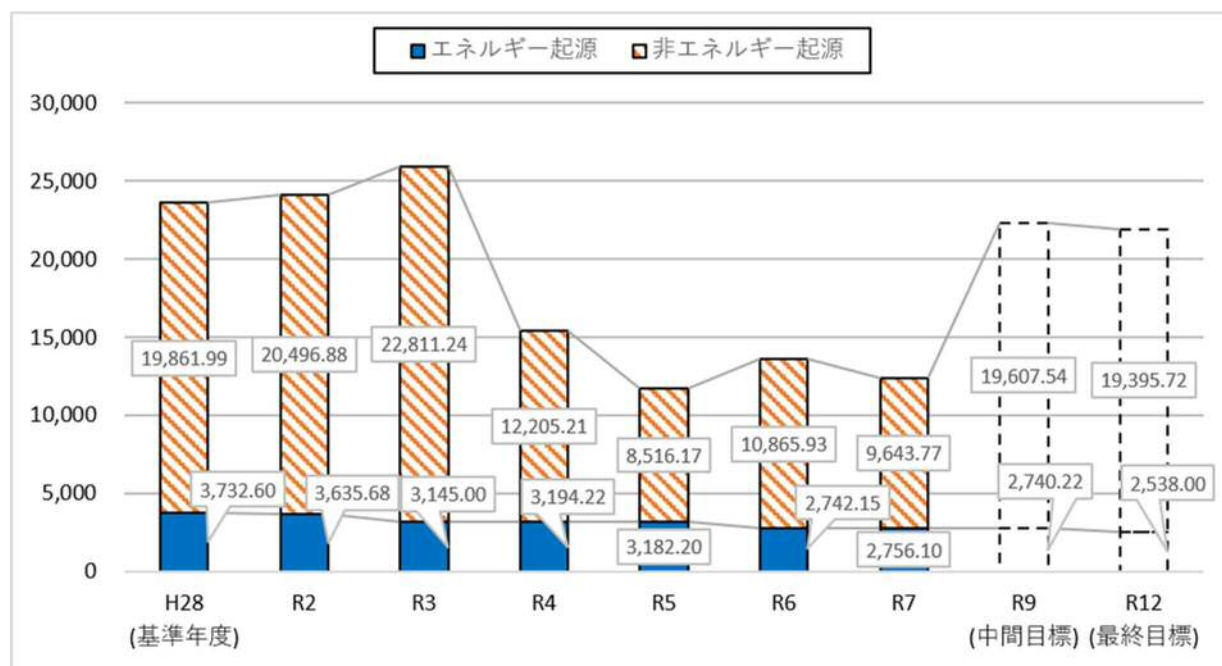
表 2-2) 非エネルギー起源の温室効果ガス排出量

(単位：t-CO₂)

項 目		平成28年度 (基準年度)	令和 9 年度 (中間目標)	令和 7 年度						削減目標
				(実績値)	基準年度との比較		中間目標との比較			
					増減	増減率	増減	増減率		
非 エ ネ ル ギ ー 起 源	一般廃棄物の焼却量	19,855.44	19,602.27	9,638.75	△ 10,216.69	△ 51.5%	△ 9,963.52	△ 50.8%	2.34% (1.27%)	
	し尿の処理量	2.24	1.24	1.69	△ 0.55	△ 24.6%	0.45	36.3%	53.12% (44.64%)	
	その他	4.31	4.03	3.33	△ 0.98	△ 22.7%	△ 0.70	△ 17.4%	効率的な 運転管理	
合 計		19,861.99	19,607.54	9,643.77	△ 10,218.22	△ 51.4%	△ 9,963.77	△ 50.8%	2.34% (1.28%)	

※削減目標の（ ）内は中間目標年度における削減目標値

表 2-3) 計画期間における温室効果ガス排出量の推移

(単位：t-CO₂)

3. 今後の取り組み

令和 7 年度は、エネルギー起源の温室効果ガス排出量が中間目標を達成できなかった一方、非エネルギー起源の温室効果ガス排出量は中間目標を達成いたしました。特に、非エネルギー起源の大部分を占める「一般廃棄物の焼却量」に係る排出量が減少したことにより、目標を大きく下回る結果となりました。

非エネルギー起源の温室効果ガス排出量の大部分を占める「一般廃棄物焼却量」に関しては、その年度の廃棄物搬入量や廃プラスチックの組成割合に大きく左右される部分もありますが、今後も継続的な排出量削減に努めてまいります。

目標未達成となったエネルギー起源の温室効果ガスを削減するため、電気・燃料等の効率的な使用と節約を心掛け、高効率・省エネ、低燃費に寄与する機器の積極的な導入を検討するなど、最終年度の削減目標達成に向けて取り組んでまいります。